

## 第2回あわら市行政改革等推進委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成30年9月21日（金） 13:30～
- 2 場 所 あわら市役所203議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・平成30年度施策評価シート
- 5 出席者 委員：桑原美香（会長）、達川昌美、富田毅矩男、大宮健司、岡正實、  
佐孝修彦  
内部委員：城戸橋総務部長、笹井財政部長  
教育委員会：糠見教育部長、房野教育総務課長、能美給食センター所長、岡田  
文化学習課長、宮川スポーツ課長、山田教育総務課長補佐、小嶋  
文化学習課長補佐、橋本文化学習課長補佐、細川スポーツ課長補佐  
経済産業部：後藤経済産業部長、大角農林水産課長、中嶋観光商工課長、宮川農  
林水産課長補佐、山下農林水産課長補佐、堀江観光商工課長補佐、  
中島観光商工課長補佐  
総務部：（城戸橋総務部長）、江守総務課長、（武田政策課長）、山口総務課安  
全対策室長  
事務局：武田政策課長、山口政策課長補佐、山本政策課主査

## 6 会 議

- ・委員の出席状況の報告（伊藤委員、八木委員が所要のため欠席）
- ・会長あいさつ
- ・議事

※以下の議事録において、施策番号は【 〃 】, 事務事業番号は〈 〃 〉で表記する。

13:42～14:50

会長 教育委員会所管施策に関し事務局の説明をお願いする。

事務局 （【13】学校教育の充実、【14】青少年の健全育成、【15】生涯学習の  
推進、【16】生涯スポーツの推進、【17】文化と芸術の振興の説明）

会長 【13】学校教育の充実について意見や質問はないか。

委員 国体により小中学校の学習の時間が減っている。また、英検など県の入  
試の扱いが毎年度変わり、現場は混乱している。運動会のあり方につい  
ても、午前中だけにしたり、春に実施する流れもある。どのように考え  
ているか。

**教育部長** 芸術など学校のカリキュラムが増えている。併せて地域のふるさと学習などスケジュールは過密になる中で、二学期制を導入し授業日数の確保に努めている。国体とのかかわりについては、50年に1度機会であり、ふるさと学習の一環で取り組んでいるため理解いただきたい。県の入試改革については、社会が英語を求めている中で、早いうちに英語の実力をつけるために取り組んでいる。

**委員** 国体に時間を割かれるのも、受験生にとっては厳しい。あまりふりまわさないで欲しい。

**教育部長** 子どもたちの様子をみながら取り組んでいきたい。

**会長** 体験授業は良い取り組みであるが、通常授業に生かせるような授業の設計が大切となる。同じものを見ても学びとるものは違う。それを教えるのが教育であると思う。部活に関する取り組みは。

**教育部長** 部活については働き方改革もあり、教員の負担軽減に取り組んでいる。子供たちにとっては、社会性を学ぶなど大切な機会となっている。地域のスポーツクラブ等にも着目して適切に進めていきたい。

**会長** 体験授業の改革には取り組んでいるか。

**教育部長** 地域にかかわり、地域を愛する教育に取り組んでいる。

**会長** 通常学習に生かしていけるようにしてほしい

**委員** 不登校の生徒数は。

**教育部長** 小学校1,269人中4人、中学校694人中30人。

**委員** 先生の暴言等が不登校の原因にならないような配慮はあるか。

**教育部長** あわら市では、先生による不登校はない。スクールカウンセラーによる支援も行っている。

**委員** 不登校になった場合、出席日数が足りず進学先の高校が受け入れてくれない。

**委員** 市内生徒の進学率は。

**教育部長** ほぼ進学している。

**会長** 【14】 青少年の健全育成について意見や質問はないか。

**委員** 18歳成人となった場合成人式はどうするか。また意義は。

**文化学習課長** 出席率は8～9割。一つのセレモニーとして楽しまれている。また、父母席も人気であり、今後も取り組んでいきたい。

**会長** スポーツ少年団の監督はどのような方か。

- スポーツ課長 認定指導員の資格をもった方と、お手伝いで地元の方。
- 補佐
- 会長 指導者の責任が増えている。また、統合すると移動の問題もある。責任の所在があいまいになったり、運営はますます難しくなっていくと思うがどう考えるか。
- スポーツ課長 移動は保護者が行っている。
- 補佐
- 委員長 小中学生をまとめて、中学生が小学生の面倒をみるというのもよいのでは。
- スポーツ課長 場所が離れており、集めるのが難しい。また、中学生の活動ができなくなる恐れがある。
- 補佐
- 会長 【15】生涯学習の推進について意見や質問はないか。
- 委員 中央公民館の駐車場を広くするのはよいが、違法駐車撲滅に力をいれていただきたい。
- 文化学習課長 70台→140台ほどのキャパとなり、イベント時の路上駐車は減ると考える。近くの方による駐車については、解消にむけ今後も取り組んでいきたい。
- 委員 金津図書館は児童書がそろっていて特色があるが、芦原図書館は蔵書自体が少ないことと、古い本が多い。統合などにより蔵書を増やしてほしい。市民の目で見えた抜本的な図書館づくりをお願いしたい。
- 財政部長 現在の利用状況から見て急に統合するわけにはいかないが、図書館協議会などでの協議も含めて、時間をかけて検討していきたいと考えている。
- 総務部長 今年度公共施設の再配置計画を作成する。公民館で図書の予約ができるようにするなど、工夫をしたうえで統廃合を検討したい。
- 委員 特色をだせなければ、統合という話も出てきてしまう。
- 委員 来館者数の内訳は。
- 文化学習課長 金津44,011人、芦原16,219人。
- 委員 金津に本屋がない。できれば誘致してほしい。
- 委員 同意。
- 総務部長 採算が合わないと来ていただくのは難しい。
- 会長 【16】生涯スポーツの推進について意見や質問はないか。

会長 <8>ボランティア登録者数45.6%で大丈夫か。  
教育部長 H29の実績であり、現在は目標を達成している。

会長 【17】文化と芸術の振興について意見や質問はないか。

委員 創作の森入館者数が激減した理由は。

文化学習課長 企画展の入り込みが低調であった。特に夏の企画展（イラストレーショ  
ン展）が9千人→2千人に減。現在実施しているアンパンマン展は現時点  
で13千人を突破している。

委員 せっかくりっぱな建物なので、企画に力をいれ入館者を増やしてほしい。

委員 市内在住者の利用が少ないのでは。

文化学習課長 少ない。これからはアンパンマン展をはじめとして市民にも親しみやす  
い企画を増やし、市民が利用しやすいようにしたい。

委員 市民が足を運びたくなる企画をお願いしたい。

委員 市内在住者への割引は考えていないか。

文化学習課長 会員になると無料パスポートがあるが、市内すべての方への割引は現状  
ない。

委員 文化祭について若い人に興味を持ってもらえるような施策を。

文化学習課長 子どもの体験コーナーを充実させたい。

補佐

15:00～16:19

会長 経済産業部所管施策に関し事務局の説明をお願いする。

事務局 （【24】観光の振興、【25】農業の振興、【26】林業の振興、【27】水  
産業の振興、【28】工業の振興、【29】商業の振興、【30】雇用環境の  
充実の説明）

会長 【24】観光の振興について意見や質問はないか。

委員 都市部ではSuicaやICOCAで買い物や食事ができる。そのような体制を整  
備されたい。また、KANAZAWARA号が老朽化していた。安心安全が先では  
ないか。

観光商工課長 交通系ICカード等の受け入れ環境整備について、読み取り機械の導入を  
進めている。バスについては、購入して3年となる。今後も適切に整備  
を行い運行する。

委員 利用率は。

観光商工課長 昨年度は6,000人を超えた。今年度、県外客が利用しやすいよう運行時間を見直している。

委員 金沢からあふれた客しか来ていないのでは。

観光商工課長 素材の掘り起し等を行い、今年度中に観光戦略を策定する。新幹線の開業効果後もお客さんに来てもらえるようなプランにしたいと考えている。

委員 災害時の対応は。特にインバウンド。

観光商工課長 旅館に調査を行っている。また、HP等で周知するが、更に発信力の強化を図りたい。

委員 天皇陛下は福井のホテルにとまるとのことであるが。

総務部長 警備の関係で、最近は旅館にはお泊りにならない（宮内庁の方針）。

会長 <5>最終目標について記載ミスを修正 2200千人→1000千人。

会長 【25】農業の振興について意見や質問はないか。

委員 新幹線工事後の水田の利用が心配である。

総務部長 米価にもよる。

委員 いちほまれの栽培状況は。

経済産業部長 42町 坂井市は88町。

総務部長 特別栽培米の基準があり、嫌がる農家も。

会長 【26】林業の振興について意見や質問はないか。

委員 森林環境税・森林環境譲与税が創設される。対応は。

総務部長 今後林野庁からガイドラインが示される予定。

委員 1ヘクタール未満のことが多い。それをどうまとめていくかが課題となる。

農林水産課長 譲与税の使い道については、坂井市、森林組合を含めて検討していきたい。

会長 【27】水産業の振興について意見や質問はないか。

委員 観光地引網の状況は。

政策課長 波松について、砂浜自体は回復しており、観光地引網として営業している。子ども会、企業、団体相手に1シーズン20回ほど実施している。定

年退職したサラリーマンも加わり、実施時期の延長も検討中。

委員 環境の保全にもなると思う。

総務部長 波松小学校の利活用の一環で、地元主体で検討中。

会長 グリーンツーリズム・ブルーツーリズムについては農林水産課だけでなく、観光商工課の情報発信力も生かしPRを強化したほうが良い。

会長 【28】工業の振興について意見や質問はないか。

会長 本当に必要なのは、若者が働きたいと思える場づくりと考える。人手不足が深刻化しているなか、働き方改革などのソフト事業は企業それぞれに改革をしてもらう必要があり、中小企業としては難しいかもしれないが、一番重要となる。また、市内で育った若者が市内に就職していないことが問題と考えるがいかがか。

観光商工課長 若者に対する魅力発信について、あわら市、坂井市、福井銀行が連携して高校生及び卒業生を対象とし企業の紹介等を行う事業を29年度より始めたところである。併せて、インターンシップに対する旅費の助成も行っている。

総務部長 企業立地助成金についても雇用条件を設けているが、人手不足が深刻。ソフト事業は大切であると思う。

会長 【29】商業の振興について意見や質問はないか。

委員 空き店舗の問題は。

経済産業部長 住宅兼店舗となっており、対応が難しい。

観光商工課長 新しい人を呼んで来ようとする、店舗と住宅を分けるのに多額の費用がかかる。

委員 旅館の囲い込みが良くない。

委員 芦原温泉駅前には20時をすぎるとシャッター街となる

総務部長 まずは基本計画図を早く示したい。

委員 新幹線開業により若者が出ている可能性は。

総務部長 修学旅行等は増えると思われる。

会長 【30】雇用環境の充実について意見や質問はないか。

委員 Uターンの実現は難しい。優秀な学生に養成のお金をだすなど、財政の豊かな東京都の引き留め策は強力。

**総務部長** まず首都圏に子どもを行かせないことが必要となる。福井県は製造業が多く、学生の人気はいまいちであるが、技術力は高い。その魅力を発信しUIJターンを増やしたい。

16：31～17：37

**会長** 総務部所管施策に関し事務局の説明をお願いします。

**事務局** （【3】地域防災の強化、【8】人権の尊重、【31】交流の推進、【32】市民主役のまちづくり、【33】情報化の推進、【34】健全な行財政の運営の説明）

**会長** 【3】地域防災の強化について意見や質問はないか。

**委員** 現行の消火体制で十分であるか。先般の温泉街での火事は一方通行の影響が本当になかったのか。新区ではお年寄りの火事をうけ各班長宅に消火器を設置することとなった。避難勧告や避難指示にどこまで従わないといけないか。また、中小河川の守りが手薄かと考えるがいかがか。

**総務部長** あわら温泉は街中に駐車場がないため、路上駐車が多かったが、一方通行化により路上駐車がなくなっており、消火水の確保が図られた。また、緊急車両は逆走が可能であり、一方通行化による悪影響はなかった。消防署との距離については、金津市街地、芦原市街地ともに8分、また三国署からも8分と消防力は高まっている。

**総務課長** 避難指示、避難勧告、避難準備とあるが、発令する前には各区の区長もしくは区長会を通してアナウンスをしている。地域との連携でいかに高齢者等の不安の解消、避難の誘導がポイントとなる。前日の豪雨で全避難所を解説したが、地域の取り組みにより避難者にかなり差が出た。出前講座等を通してアプローチを続けていきたい。

**委員** 地質にも影響を受ける。

**総務部長** 防火意識の向上は行政だけではできないため地域の協力が不可欠。また、中小河川については、危険なところはモニタリング及びパトロールにより把握している

**会長** 【8】人権の尊重について意見や質問はないか

**会長** 本委員会自体の女性比率が減少した。社会保障や子どもの教育についてなど、女性部会のようなものを設置するなどし、地域の実情などの意見

を吸い上げられる仕組みづくりも良いかと思う。

**会長** 【31】交流の推進について意見や質問はないか  
**委員** 姉妹都市である香美市や下妻市を知らない人が多い。周知を。  
**総務部長** 広報紙で特集をし、アンパンマン展においても香美市ブースを設置している。また、アンパンマンミュージアムと創作の森の連携の話もある。これからも交流を深めていきたい。

**会長** 【32】市民主役のまちづくりについて意見や質問はないか。  
**委員** あわらむすびは何のためにやっているのか。  
**政策課長** ブランド発信の一環。おむすびという身近なツールを使って市への愛着を深めるとともに、市内飲食店の紹介やお米の消費拡大を図る。また、おにぎりアクションというおにぎりの写真で途上国の子どもに給食を届けるNPO活動に協賛し、市のイメージアップを図っている。

**委員** なぜあわら市が途上国の発展に手を貸すのか。  
**政策課長** 行政としてのイメージアップ戦略として有効であり、また、メディアの露出による広告効果も高い。今年度は福井県も参加した。  
**総務部長** 広告の結果が途上国の支援につながっている。また、これから新幹線を迎えるにあたり、米どころ、あわらといえばおむすび、というイメージを作りたい。

**委員** HPのアクセス数は。

**総務部長** 1,000件ほど。

**会長** 行政評価委員会意見に「外国人観光客も意識」とあるが、なぜそのような意見としたのか。

**総務部長** 市民が自分たちのまちのいいところをどんどん外にも発信し、日本人だけでなく外国人観光客も意識して発信しようという意図。その仕掛けとして、おにぎり等を用いている。

**委員** ふるさと納税の実績は。

**政策課長補佐** 4,300万円ほど。

**会長** 【33】情報化の推進について意見や質問はないか。

**委員** 総合行政システムの損害はどのくらいか。

**総務部長** 職員の残業代や電気代等で実支出額は62万円。他、イメージダウンが大



- きい。
- 委員 コンビニ交付の実績は。
- 政策課長 平成29年度946件。
- 委員 マイナンバーカードの交付率は。
- 政策課長 7.7%。
- 会長 【34】健全な行財政の運営について意見や質問はないか。
- 委員 自動車税を下げるという報道があったが、そうすると軽自動車が減り市の財政が悪くなるのでは。
- 財政部長 それほど影響はでないと思われる。
- 委員 市長の不祥事があったが、再発防止策は。
- 総務部長 市民アンケートの数値が下がっている。イメージ回復をどうするかは重要。
- 会長 庁内での働き方改革をすすめないと、若手が疲弊し、公務員をやりたい人が減っていく。小さいところから改善が必要ではないかと思う。
- 総務部長 心の病にかかる公務員が多い。職員数は減り、市民からの要求、ミスがあった時の批判が高まっている。前期試験の応募がかなり減った。内部の改革は必要であると考えている。
- 委員 議員や職員定数の推移は。
- 総務部長 議員について、すでに法定よりかなり少ない数であるが、適切な数について検討が行われている。職員については、合併時より100人以上減っているが、業務はどんどん増えている。
- 委員 本荘小学校は避難所であるが、川から10メートルほどの場所にある。想定外が多発する世の中で、見直しの考えは。
- 総務部長 把握しており、災害の種別に応じて、都度適切に設定したい。

#### 【行政評価全般について】

- 委員 今後、担当課が説明することも検討してほしい。
- 総務部長 フォーマットも含めて検討したいと考えており、ご相談させていただきたい。
- 会長 本日本日予定の案件はすべて終了した。以上で、本日の会議を終了させていただく。

**事務局**

事務連絡

意見の集約について：（一同）会長に一任する。

（次回会議の件（2月頃、行政改革大綱実施計画について）

（17： 38閉会）